



VMware リンク済み複製の管理

この章は、次の項で構成されています。

- [VMware リンク済み複製について, 1 ページ](#)
- [Cisco UCS Director での VMware リンク済み複製の使用, 2 ページ](#)
- [リンク済み複製 VM レポートの表示, 3 ページ](#)

VMware リンク済み複製について

リンク済み複製とは、親仮想マシンと仮想ディスクを継続的に共有する仮想マシンのコピーです。これによりディスク容量を節約し、複数の仮想マシンで同じソフトウェアインストールを使用できます。

リンク済み複製は、親のスナップショットから作成されます。スナップショットの時点で親が使用可能なすべてのファイルは、リンク済み複製でも引き続き使用できます。親の仮想ディスクで進行中の変更はリンク済み複製に影響を与えず、リンク済み複製のディスクへの変更は親に影響を与えません。リンクされた複製は親にアクセスする必要があります。親にアクセスできない場合、リンク済み複製はディセーブルされます。

VM スナップショットの管理の詳細については、『[Cisco UCS Director Administration Guide](#)』と『[Cisco UCS Director End User Portal Guide](#)』を参照してください。

リンク済み複製機能に、次のシナリオが適用されます。

- リンク済み複製 VM から削除されるすべての VM の中で、1 つの VM が残った場合、すべての VM は親 VM の元のサイズに戻ります。
- ある VM が他のホストおよびデータストアに移行されると、その VM は親 VM の元のサイズを保持します。

Cisco UCS Director での VMware リンク済み複製の使用

はじめる前に

VM を複製する前に、次の点に注意してください。

- ストレージ ポリシーの作成中に、リンク済み複製を使用することを選択すると（[リンク済み複製の使用（Use Linked Clone）] チェック ボックスをオンにすると）、複製はリンク済み複製になります。ただし、このチェック ボックスをオンにしなかった場合、複製はフル複製になります。
- リソースの割り当て中には、親のイメージまたは VM のデータストアにアクセスできるホストだけが、リンク済み複製として選択されます。
- リンク済み複製を作成するには、新しいスナップショットを作成するか、既存のスナップショットを使用する必要があります。



(注) リンク済み複製機能を使用して、VMware vSphere クラウドで標準カタログ項目を作成している場合、選択した VM テンプレート イメージにスナップショットが含まれている必要があります。イメージにスナップショットがない場合は、イメージを VM テンプレート イメージに変換する前に VM で新しいスナップショットを作成し、インベントリを実行して Cisco UCS Director を vCenter と同期させる必要があります。

手順

- ステップ 1 [仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] を選択します。
- ステップ 2 [コンピューティング (Compute)] ページで [VM (VMs)] をクリックします。
- ステップ 3 リンクしている複製機能を使用する VM を含む行をクリックします。
- ステップ 4 [その他のアクション (More Actions)] ドロップダウン リストから [複製 (Clone)] を選択します。
- ステップ 5 [VM の複製 (Clone VM)] 画面でフィールドに入力し、既存のスナップショットからリンク済み複製を作成するか、新しいスナップショットを作成します。
- ステップ 6 [カスタマイズ オプション (Customization Options)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。
 - a) [単一データストアのすべてのディスクをプロビジョニング (Provision all disks in single datastore)] チェック ボックスをオンにして、単一データストアにすべてのディスクをプロビジョニングします。

(注) 範囲は、システム ディスクの範囲と同じです。

- b) [VM アプリケーションの請求間隔 (VM Application Charge Frequency)] で時間単位または月単位を選択します。
- ステップ 7** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 8** [導入設定 (Deployment Configuration)] 画面でフィールドに入力して、VM を展開する場所、プロビジョニングをただちに実行するか後で実行するか、および展開した VM を実行し続ける時間の長さを指定します。
- ステップ 9** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 10** [カスタム仕様 (Custom Specification)] 画面で、カスタム CPU およびメモリ パラメータのフィールドに入力します (該当する場合)。
- ステップ 11** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 12** [カスタム ワークフロー (Custom Workflow)] 画面で [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 13** [データストアの選択 (Select Datastores)] 画面で、データストアを割り当てる VM ディスクを選択します。
- ステップ 14** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 15** [VM ネットワークの選択 (Select VM Networks)] 画面で、VM ネットワークを選択します。
- ステップ 16** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 17** [概要 (Summary)] 画面で情報を確認し、[送信 (Submit)] をクリックします。
-

リンク済み複製 VM レポートの表示

手順

- ステップ 1** [仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] を選択します。
- ステップ 2** [コンピューティング (Compute)] ページでクラウドを選択します。
- ステップ 3** [コンピューティング (Compute)] ページで [イメージ (Images)] をクリックします。
- ステップ 4** イメージにリンクしている複製 VM レポートを表示するには、そのイメージがある行をクリックします。
- ステップ 5** [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 6** [リンク済み複製 VM (Linked Clone VMs)] をクリックします。
各スナップショットのすべてのリンク済み複製 VM のレポートを表示できます。
-

